第７６回　函館高等学校柔道大会
兼 第７５回　北海道高等学校柔道大会函館支部予選会
大会要項

主　　催　　北海道高等学校体育連盟函館支部

後　　援　　函館柔道連盟

主　　管　　北海道高等学校体育連盟函館支部柔道専門部

当 番 校　　高体連函館支部柔道専門部（函館大谷高等学校　住所：函館市鍛冶１丁目２番３号）
TEL 0138-52-1834　FAX 0138-52-1853

期　　日　　令和７年５月２３日（金）

【５月２３日（金）】

９：００	**開場・会場設営**
１０：００	**受付**
１０：００	男子・女子計量
１０：２０	専門委員会
１０：３０	監督・主将会議
１０：４５	顧問・審判会議
１１：００	開会式
１１：２０	団体試合（女子団体試合は、男子団体試合前に行う）
１２：００	女子個人試合
１２：３０	男子個人試合
１５：３０	会場復元・閉会式・表彰式

会　　場　　函館武道館（函館アリーナ内）
（　函館市湯川町１丁目３２番２号　TEL ： 0138-57-3134　）

競技規則　　国際柔道試合審判規定（2025-2028）による。

参加資格
（１）選手は学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
（２）北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
（３）北海道高等学校体育連盟の主催大会参加者災害補償制度に加入している者、または、加入意志のある者。
（４）令和７年度全日本柔道連盟・函館柔道連盟に登録している者。また、登録予定の者。
（５）平成１８年４月２日以降に生まれたもの。
（６）当該学校に在籍の生徒であること。但し、同一学年の出場は１回限りとする。また、新１年生の出場については事故防止等に配慮し参加を検討すること。
（７）全日制・定時制の混成チームは認めない。
（８）引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。監督は校長の認める当該校の職員または指導者とする。監督については、校長から委嘱された「部活動指導員」（学校 教育法施行規則第 78 条の２に示された者）も可とする。

（９）脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
ア 大会前１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること）
ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
エ 当該選手の指導者は大会事務局および北海道柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
（10）皮膚真菌症（トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

編　　成

（１）団体
①男子は、監督１名 選手５名 補欠選手１名 マネージャー１名の計８名をもって編成する。ただし選手が５名に満たない場合は後ろ詰めとする。
②女子は、監督１名 選手３名 補欠選手１名 マネージャー１名の計６名をもって編成する。ただし選手が３名に満たない場合は後ろ詰めとする。
③全日制課程と定時制課程の生徒による混合チームは認めない。

（２）個人
①男女とも支部大会参加規定による。各階級の出場人数は限定しない。

支部代表　　団体試合、個人試合とも全道高等学校体育大会規定による。

試合方法

（１）**団体**
①参加校数により専門部で協議し、試合方法を決定する。
②チーム間の勝敗の決定は勝ち数の多いチームを勝ちとする。同数の場合は「一本総数」、さらに同等の場合は「技有総数」「有効総数」の多いチームを勝利とする。それでも同じ場合は代表選手を任意に選出し、代表決定戦を１回行い、必ず勝敗を決める（リーグ戦の場合は行わない）。
③リーグ戦内の勝率勝点が同一の場合は試合内容（一本・技有・有効・指導差）を精査して順位を決定する。それでも同じ場合、対象チームは代表選手を任意に選出し、代表決定戦を１回行い、必ず勝敗を決める。
④試合時間は全て３分とする。延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
⑤「優勢勝ち」の判定基準は、「有効」又は「僅差」（指導差２）以上とする。
⑥「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち＝反則勝ち＞技有＞有効＞僅差】の順とする。
⑦代表戦で両者反則負けの場合は、スコアをリセットして、延長戦（ゴールデンスコア）を行い、必ず勝敗を決する。

（２）**個人≪男子≫**
①各階級とも参加人数により専門部で決定する。ただしトーナメント戦の場合、北海道大会出場権獲得のため敗者復活戦を行う。
②試合時間は３分とする。
③「優勢勝ち」の判定基準は「有効」、または「僅差（指導差２）」以上とする。技による評価が同等および指導差１以内の場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決定する。
④延長戦（ゴールデンスコア）の判定基準は「有効」以上または「指導」の差により勝敗を決する。
⑤７階級とし、体重区分は次の通りとする。

・＋１００kg級	・－１００kg級	・－９０kg 級	・－８１kg 級
・－７３kg級	・－６６kg級	・－６０kg 級	

※計量は定められた時間内に行い、体重に過不足のある者は出場を認めない。

（３）**個人≪女子≫**

①試合方法は参加人数により専門部で決定する。

②試合時間は３分とする。

③「優勢勝ち」の判定基準は「有効」、または「僅差（指導差２）」以上とする。技による評価が同等および指導差１以内の場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決定する。

④７階級とし，体重区分は次の通りとする。

・＋７８kg級	・－７８kg級	・－７０kg級	・－６３kg級
・－５７kg級	・－５２kg級	・－４８kg級	

※計量は定められた時間内に行い、体重に過不足のある者は出場を認めない。

組み合せ　令和７年５月２０日(火)１６：００～　函館大谷高校において専門委員立会いの上、抽選を行う。

申込方法

申込期日　**令和７年５月１９日（月）必着**で、メールにて送る。また学校長印を押印したものを郵送すること。（〆切以降の申し込みは原則として受け付けません。）

申 込 先　**〒041-0852　北海道函館市鍛冶1丁目2番3号**
函館大谷高等学校　内
高体連柔道大会事務局　清水　猛　宛

メール送付先　shimizu@hakodate-otani-h.ed.jp

参 加 料　支部大会の**参加料一人５００円（高等専門学校の参加料は一人７００円）**のほか、**全国高体連柔道負担金一人５００円**を徴収する。５月２３日（金）の受付時に納入すること。

表　彰　団体試合はトーナメントの場合４校（３位）まで、リーグの場合出場校分、個人試合おいては、－６０kg級、－６６kg級、－７３kg級、－８１kg級、－９０kg級は各階級６位まで、－１００kg級、＋１００kg級は各階級４位までを表彰する。女子は別途表彰する。

注意事項

（１）選手の変更

①申込後、参加者に変更が生じた場合は所定の証明書（当該校長の出場承諾書）を５月２３日（金）の監督・主将会議までに専門部へ届け出ること。

②団体試合のオーダーは５月２３日（金）の開会式後に提出し、補欠選手変更以外のオーダーの変更は認めない。

③参加申込後の選手変更は１名を限度とする（補欠選手を優先）。ただし、伝染病・天災等による場合はこれを適用しない。

④競技開始時に選手変更の必要が生じた場合は、選手変更用紙に必要事項を記入して本部記録に提出し、選手変更の承諾を得て交代を行うこと。

（２）**高体連全国柔道専門部会研究調査報告誌代１，０００円**を参加料と同時に納入して下さい。

（３）紅白帯は各校で用意して下さい。

（４）持ち物・貴重品は各校で管理して下さい。

（５）前日（２２日）の会場での練習はできません。

（６）ゴミは各校で持ち帰ってください。

（７）女子のＴシャツは、白の無地または白の半袖レオタードとする。

（８）大会役員・審判員の昼食は当番校で用意しますが、試合の進行により昼食時間を設けない場合があります。また引率教員は昼食の用意はしませんので、ご了承ください。

（９）プログラムは各校で印刷してお持ちください。抽選会翌日に顧問の方にメール予定です。